

平成 27 年度第 2 回国立大雪青少年交流の家施設業務運営委員会議事要旨

日時：平成 28 年 3 月 2 日（水）14:45～16:00

場所：国立大雪青少年交流の家本館第 1 研修室

運営委員出席者：笠井委員，大島委員，浜田委員代理（成田委員），永澤委員，瀬川委員，松本委員，西海委員代理（武山委員），山中委員，竹村委員，十川委員，村上委員
計 11 名

運営委員欠席者：山根委員，目黒委員，坂東委員，浪岡委員，植田委員，片岡委員，服部委員，尾崎委員，松倉委員

計 9 名

大雪青少年交流の家出席者：阿部所長，穴澤次長，松浦事業推進室長，村澤企画指導専門職，柴田企画指導専門職，安藤事業推進室主任，秋山管理係長，澤田総務係長，三田総務係員

計 9 名

（●事務局 ○議長 □委員）

●開会宣言（穴澤次長）

会議日程，欠席委員の報告，交代施設業務運営委員の自己紹介の後，委員会規則第 6 条の規程に基づき，笠井委員長の進行で議事開始。

○議長

議題 1 の平成 27 年度事業（部会）国立大雪青少年交流の家運営計画に基づく報告について事務局より説明をお願いしたい。

○議長

事務局より説明のあった事項に係る意見・質疑については，この後の各部会の進捗状況等の説明後に一括して行うこととする。各部会については 10 分程度で広報部会，事業部会，管理運営部会の順番で説明をお願いしたい。

●各部会の進捗状況について，パワーポイント資料に基づき説明。

< 広報部会 >

1 利用促進方針に関すること

- ・ 10 月、11 月の利用促進月間に新規利用団体の獲得に向けた広報活動の実施

< 成果 > 27 の新規利用団体利用

学校部活等 10 団体 スポーツクラブ 3 団体

家族利用 8 団体 自衛隊利用 4 団体他

- ・ 下山プロジェクト時や商工会議所等と協力して団体（主に企業）が行う研修会の誘致

<成果>6団体7件利用

企業宿泊研修 3件 会議や会合利用 2件

企業福利厚生利用 2件

・特別企画事業の実施

① 婚活イベント「たいせつなフレンズ」7月11日～12日

② ゆーすフェスタ 2015 の宿泊プラン 10月3日～4日

③ 大雪冬のレクスポーツの祭典の宿泊プラン 2月27日～28日

④ あつまれ！びえいワイルドキッズ 9月5日～6日

⑤ 入門登山！はじめての富良野岳 9月26日～27日

参加者 22名（家族3組8名含む）

⑥ びえいアスリートキッズ！10月17日～18日

参加者 29名（対象：道内の少額4～6年生）

・<H27目標値>104,000人以上

宿泊 73,000人 日帰り 31,000人

<2/29現在利用者数>107,698人

宿泊 69,504人 日帰り 38,194人

宿泊利用者数が、目標値より3,500人減。

2 広報活動の方針に関すること

・新規利用団体獲得に向けたチラシの作成

作成したチラシ等を新・施設概要に封入し、広報活動を展開中。

・最新情報のHP及びカウントダウンボード提供

・職員一芸プログラム及びDVDを更新・展開

3 広報活動の充実に関すること

・北海道老人クラブ連合会からの情報提供や直接訪問し施設利用を誘致。

<成果>宿泊利用団体 4団体 日帰り利用団体 7団体

・情報提供満足度

平成27年度満足（75.4%）・やや満足（24.6%）において100%達成

しかしながら「満足」の割合が年々減少

H24 83.2% H25 89.5% H26 84.9%

今後「満足」の割合を上げていく必要あり。

<事業部会>

1 教育事業等の企画運営に関すること

① 企業や民間団体等各機関と連携した事業の実施。

主に11事業において企業や民間団体等各機関と連携。

- ② 「子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業」への参画
「ゆーすフェスタ 2015」(10/4)
永澤委員、服部委員、西海委員、村上委員の4名が参画エンディングでのお菓子まき。
- 「大雪冬のレクスポーツ祭典」(2/27-28)
大島委員、浪岡委員、今瀧委員(代理)の3名が参画。
- ③ 「青少年教育施設を活用した国際交流事業」の企画及び事業評価の実施。
2回の企画委員会を開始あプログラムの企画と評価。
グローバル・アクションプロジェクトを実施。
日本人参加者の「グローバル人材」の要素が向上。
- ④ 児童養護施設職員を対象とした体験活動の照会
道内4ブロック23施設の職員を対象に体験活動を紹介。
長期休業中の生活習慣、体験活動の支援・協力。
- ⑤ 北海道「体験の風をおこそう」運動推進委員養成のための研修カリキュラムの策定
市町村教育委員会や団体と連携した研修会を10会場で開催し、推進委員を養成。
(修了者の登録:54名)
登録者と連携した全道的な運動展開・フォローアップ研修。
北海道版「体験の風をおこそう」推進DVDの作成。
- ⑥ 「体験の風をおこそう」運動の普及啓発
北海道179全市町村の事業エントリーを達成。

2 研修支援事業に関すること

- ① 活動プログラムの見直し・点検及び安全管理・危機管理対策の徹底を図った教育環境の整備
登山コースの実地踏査、ハイキングコースの点検・整備、コース図の修正
冬季はクロスカントリーコースの環境整備を実施。
- ② 高校・大学等の職場実習や社会教育実習・インターンシップの受入
日本体育大学から1名の社会教育実習生を受入。
- ③ 利用団体アンケートの満足度向上
4～12月の全項目で「満足」「やや満足」100%達成。
1. 総合(満足80.7%、やや満足19.3%)
 2. 事前情報提供(74.0%、26.0%)
 3. 事前相談・指導・助言(83.6%、16.4%)
 4. 活動プログラム(84.0%、16.0%)
 5. 電話・窓口対応(84.2%、15.8%)

3 連携促進事業に関すること

- ① 北海道青少年教育施設協議会と連携した研修会の実施
「青少年教育スキルアップセミナー」（4/25-26）を開催。
大島事業部会長、瀬川管理運営部会長が講師。
- ② 各市町村教育委員会等と連携した体験活動・生活習慣・読書週間定着の取組や事業の実施。
主に取り組んだ内容
「土曜教育支援活動プロジェクト」
「健康・体力向上応援プロジェクト」
「生活リズム向上応援プロジェクト」
「読書推進応援プロジェクト」

<管理運営部会>

1 受益者負担の適正化

- ① 講師室使用料の導入（管理運営部会承認済）
H28.10～導入 一人1泊 1,200円
自己収入の確保 年間 200万円見込
サービス向上による利用者の理解を得るために
・アメニティ設備を導入
・施設、設備の改修（クロス張替、防音措置等）
- ② バス燃料費徴収、プール使用料について平成 28 年度に継続。
- ③ 施設使用料の減免（自衛隊）
当面の間（一般利用 1泊 800円→250円）

2 適正な人員配置及び優秀な非常勤職員人材の確保

- ① 退職教員の任用及び若手職員任用の公募による任用
高い技術を有する若手職員の採用見込み。
利用者の研修支援等の室の確保。
- ② 優秀な技術を持つ技能補佐員の雇用延長の決定
・安全・安心な施設の維持管理の実現、若手職員の模範

3 施設・設備の長期計画（施設マスタープラン）の策定

- ① 体育館等非構造物改修（42,717千円）
- ② 温泉管破損緊急修繕（540千円）
21件要求 → 14件 5千4百万円 採択
（件数採択率 67%）
利用者の安全・安心の確保。
- ③ 改修履歴の作成・関係機関（文部科学省・国土交通省）への働きかけ
・施設視察の実現
（国土交通省北海道開発局・機構本部 来所 （3/11））

※今後、施設マスタープランの策定・機構本部への提出。

- 4 50周年記念事業に向けた事業計画及び寄附金獲得
式典・祝賀会 平成28年10月16日(日)
企画委員会立ち上げ・第1回委員会開催(1/21)
- ・地域とともに記念事業を盛り上げる機運の醸成。
 - ・記念事業の実施日確定(実施内容称しあ検討中)
北海道青年団体協議会青年大会(H28.7.2(土)～3(日))
全道高齢者大学移動学園祭(H28.7.4(月)～5(火))
北海道産業高校の祭典(H28.10.2(土))(ゆーすフェスタ内で実施)
体験の風をおこそう全道フォーラム(H28.11.5(土)～6(日))
子供のための火山防災フォーラム(H28.9.24(土)～25(日))
 - ・寄附金の協力依頼開始(地元企業・OBから)
目標:350万円

○議長

各部会からの報告等について、意見・質問等があればお願いしたい。

□委員

特になし。

○議長

議題2の平成27年度自己点検・評価から議題5の50周年記念事業関係について事務局より説明をお願いしたい。

●事務局

パワーポイント資料に基づき説明。

<平成27年度自己点検・評価>

- ・配布資料1に基づき説明

<施設業務運営委員会>

- ・平成27年度施設業務運営委員会開催状況について

集合会議日程

- ① 第1回事業部会(5/19)
- ② 第1回広報部会(5/27)
- ③ 第1回管理運営部会(5/29)
- ④ 第1回委員会及び第2回各部会(11/12)
- ⑤ 第2回委員会及び第3回各部会(3/2)

・所内委員会係横断プロジェクトチーム

集合会議

- ① 連絡調整絵会議（7/16）
- ② 開所50周年記念事業委員会（11/26）
- ③ ゆーすフェスタ 2015（10/4）
- ④ レストラン運営委員会（11/12）
- ⑤ 危機管理ワーキンググループ（2/16）
- ⑥ 大雪冬のレクススポーツ祭典（2/28）

書面会議

- ① 業務改善ワーキンググループ（2/7）

・役員の任期

平成26年4月1日～平成28年3月31日

委員任期（2年間）

平成28年4月1日～平成30年3月31日 ※再任

平成28年度施設業務運営委員会日程（案）

※同日で各部会も開催する

第1回

- ・5月下旬から6月上旬
- ・委員長選任
- ・H28年度運営計画

第2回

- ・11月下旬から12月上旬
- ・中間評価
- ・50周年事業評価

第3回

- ・2月下旬から3月上旬
- ・年度評価
- ・次年度運営計画

平成28年度委員会体制

<施設業務運営委員会>

- ・管理運営部会
- ・事業部会
- ・利用促進部会

<所内委員会>

- ・50周年事業委員会
- ・レストラン委員会兼
給食業務評価委員会（H28に限り委員参画）

<国立青少年教育振興機構第3期中期目標・計画平成28年度年度計画> 資料2

◆期間

平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）

◆政策体系における法人の位置付け及び役割

2020年東京オリンピック競技大会の支援など、時々の政策課題に対応

◆業務

1. 自立する青少年の育成の推進

- ・「体験の風をおこそう」運動の推進
- ・短期及び長期事業の実施→事業参加者の80%以上から「満足」の評価
- ・グローバル人材の育成→外向き志向の率80%以上

2. 青少年教育指導者の養成及び資質の向上

- ・NEAL指導者の養成→1,500人
- ・教員免許状更新講習→5,000人
- ・体験活動推進員→500人
- ・ボランティア養成・研修の推進→5,500人。

（ボランティアによる自主企画事業の実施）

（オリンピック・パラリンピックに関わるボランティアの養成）

3. 青少年等を対象とする研修に対する支援

- ※毎年度、青少年人口の1割程度の利用実績確保（前中期目標期間：10.6%）
→宿泊利用団体数3%増加させる。（前中期目標期間年平均：18,827団体）
→青少年団体の84%以上から「満足」の評価

このほか、関係機関との連携推進、調査研究業務、子どもゆめ基金業務等。

◆業務運営の効率化/効果・効率的な組織の運営

- ・5年間で一般管理費15%減、業務経費5%減
- ・全施設で「運営協議会方式」（当施設の施設業務運営委員会）を実施
- ・研修利用者の80%以上から「満足」の評価
- ・稼働率55%以上

◇施設の研修支援等に関する自己採点表【試行実施】（資料3）

<50周年記念事業>

◆記念式典 平成28年10月16日（日）

◆記念事業 (資料4)

◆寄附金 (資料5)

○議長

事務局からの説明及び各部会からの報告等について、意見・質問等があればお願いしたい。

○議長

その他意見・質疑等がなければ以上で予定していた議事を終了する。

□委員

特になし

全体会終了。